



# 平成24年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年3月9日

上場会社名 サトウ食品工業株式会社(登記社名:佐藤食品工業株式会社)

上場取引所 東

コード番号 2923 URL <http://www.satosyokuhin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 元

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部副本部長兼経理部長 (氏名) 近藤 充

TEL 025-275-1100

四半期報告書提出予定日 平成24年3月16日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年4月期第3四半期の業績(平成23年5月1日～平成24年1月31日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年4月期第3四半期	21,465	3.8	941	3.8	1,312	44.3	728	61.0
23年4月期第3四半期	20,676	0.2	907	△11.0	909	△12.6	452	△23.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年4月期第3四半期	151.72	—
23年4月期第3四半期	94.24	—

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年4月期第3四半期	26,625	10,127	38.0
23年4月期	25,463	9,439	37.1

(参考) 自己資本 24年4月期第3四半期 10,127百万円 23年4月期 9,439百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年4月期	—	0.00	—	15.00	15.00
24年4月期	—	0.00	—	—	—
24年4月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年4月期の業績予想(平成23年5月1日～平成24年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,800	△0.9	950	△13.2	1,310	18.4	740	58.9	154.02

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年4月期3Q	5,075,500 株	23年4月期	5,075,500 株
24年4月期3Q	270,899 株	23年4月期	270,899 株
24年4月期3Q	4,804,601 株	23年4月期3Q	4,804,601 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「(3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
4. 補足情報	7
(1) 事業等のリスク	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日において当社が判断したものであります。

当第3四半期累計期間(平成23年5月1日から平成24年1月31日まで)におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による厳しい状況が続く中、一部において回復の兆しが見られたものの、欧州の債務問題や円高の進行もあり、先行き不透明な状況が続いております。

食品業界におきましても、厳しい雇用情勢や所得の伸び悩み等による生活防衛意識の高まりもあり、節約志向が続く厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社は、安全・安心かつ美味しさの追及に重点をおいた包装餅及び包装米飯の適正価格での健全な販売及び製品の安定供給に努めるとともに、お客様の消費動向を捉えながら多様化する消費者ニーズに対応した販売企画等の施策を推進してまいりました。

また、節電に対応した生産体制による安定供給、シンチレーションサーベイメータ(放射性物質測定器)の全工場導入や当社独自の検査体制による品質の安全性確保、最需要期となる年末に向けた効果的なテレビCMの放映や買置き需要の消化促進に向けた販売企画等の各施策に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期累計期間の売上高は214億65百万円(前年同期比3.8%増)となりました。

利益面につきましては、テレビCMの実施や売上高増加にともなう販売促進費等の増加により販売費及び一般管理費は増加したものの、生産量の増加及び生産効率の改善等による生産コストの低減に加え、受取手数料の増加及び特別損失の減少などにより前年同期に比較し増益となりました。以上の結果、営業利益9億41百万円(前年同期比34百万円増)、経常利益13億12百万円(同4億2百万円増)、四半期純利益7億28百万円(同2億76百万円増)となりました。

当社は食品事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しておりますが、製品分類別における販売の動向は以下のとおりであります。

包装餅製品につきましては、東日本大震災による消費者の防災意識の高まりから、各家庭での保存食としての備蓄需要の反動もあり、第2四半期累計期間における店頭での売れ行きが厳しい状況で推移いたしました。当第3四半期会計期間では発売2年目となる5つのやさしい(環境にやさしい、家計にやさしい、飾り場所を選ばずやさしい、女性にやさしい、飾りやすくやさしい)をコンセプトとした「サトウのやさしい鏡餅」が堅調に推移したことに加え、最需要期となる12月にテレビCMの全国放映など拡販に努めた結果、売上高は前年同四半期会計期間に比較し増加したものの、当第3四半期累計期間での売上高は115億63百万円(前年同期比0.6%減)となりました。

包装米飯製品につきましては、農林水産省が推進する東日本の被災地支援プロジェクトに賛同し、被災5県(岩手県・宮城県・福島県・茨城県・千葉県)のお米を原料に生産した「サトウの銀シャリ」と「サトウのこだわりコシヒカリ」の3食セットを対象とした「がんばろう東日本! 食べて応援しよう!」や「東日本うまいもんプレゼント」キャンペーン企画の実施に加え、良質米産地との共同企画等を実施いたしました。また、発売以来製品に原料米の産地銘柄名を明確に表示していることが、消費者の安心・安全意識にマッチし堅調に推移した結果、売上高は98億92百万円(前年同期比9.5%増)となりました。

その他製品の売上高は10百万円(前年同期売上高12百万円)となりました。

なお、当社は主力製品である包装餅が季節商品(特に鏡餅)であり、その販売が年末に集中するため、第3四半期会計期間の売上高及び利益が他の四半期会計期間に比べ著しく増加する傾向があります。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は173億14百万円となり、前事業年度末に比較し14億58百万円増加いたしました。

これは、現金及び預金(前事業年度末比2億23百万円減)、仕掛品(同1億52百万円減)、原材料及び貯蔵品(同21億8百万円減)等が減少しておりますが、受取手形及び売掛金(同42億8百万円増)の増加が主な要因となっております。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は93億11百万円となり、前事業年度末に比較し2億97百万円減少いたしました。

これは、減価償却の実施による有形固定資産(前事業年度末比2億84百万円減)の減少が主な要因となっております。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は138億86百万円となり、前事業年度末に比較し3億54百万円増加いたしました。

これは、短期借入金(前事業年度末比3億円減)及び引当金(同1億49百万円減)が減少しましたが、生産量増加にともなう支払手形及び買掛金(同1億53百万円増)及び売上高の増加にともなう未払金の増加によるその他(同6億17百万円増)の増加が主な要因となっております。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は26億10百万円となり、前事業年度末に比較し1億19百万円増加いたしました。

これは、長期借入金(前事業年度末比1億44百万円増)の増加が主な要因となっております。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は101億27百万円となり、前事業年度末に比較し6億87百万円増加いたしました。

これは、四半期純利益の計上による利益剰余金(前事業年度末比6億56百万円増)の増加が主な要因となっております。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当事業年度の通期業績予想につきましては、平成23年12月9日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

また、添付資料7ページ「4. 補足情報(1)事業等のリスク」に記載のとおり、特許侵害差止等請求控訴事件では、平成23年9月7日に知的財産高等裁判所より中間判決が言い渡されており、平成24年1月31日に本件の弁論は終結し、平成24年3月22日に判決が言い渡される予定です。この訴訟の結果を現時点において予測することができませんので、当社の業績に及ぼす影響額は不明であります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年4月30日)	当第3四半期会計期間 (平成24年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,079,716	1,856,262
受取手形及び売掛金	5,556,722	9,765,143
商品及び製品	999,216	976,186
仕掛品	322,934	170,515
原材料及び貯蔵品	6,526,063	4,417,396
その他	376,197	137,555
貸倒引当金	△5,300	△9,000
流動資産合計	15,855,551	17,314,060
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,198,774	2,110,385
機械及び装置(純額)	2,431,118	2,226,464
土地	1,821,489	1,821,519
その他(純額)	235,892	244,767
有形固定資産合計	6,687,274	6,403,138
無形固定資産		
無形固定資産	26,773	22,353
投資その他の資産		
投資不動産(純額)	2,003,383	1,993,978
その他	915,998	916,808
貸倒引当金	△25,270	△25,270
投資その他の資産合計	2,894,112	2,885,517
固定資産合計	9,608,160	9,311,008
資産合計	25,463,711	26,625,069

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年4月30日)	当第3四半期会計期間 (平成24年1月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,169,230	1,322,411
短期借入金	9,450,000	9,150,000
未払法人税等	237,000	270,000
引当金	274,254	124,471
その他	2,402,312	3,020,093
流動負債合計	13,532,797	13,886,976
固定負債		
長期借入金	1,742,260	1,887,090
退職給付引当金	476,238	457,464
引当金	70,320	73,808
その他	202,900	192,539
固定負債合計	2,491,719	2,610,902
負債合計	16,024,517	16,497,879
純資産の部		
株主資本		
資本金	543,775	543,775
資本剰余金	506,000	506,000
利益剰余金	8,604,173	9,261,054
自己株式	△305,467	△305,467
株主資本合計	9,348,480	10,005,361
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	90,713	121,828
評価・換算差額等合計	90,713	121,828
純資産合計	9,439,194	10,127,190
負債純資産合計	25,463,711	26,625,069

(2) 四半期損益計算書  
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年5月1日 至平成23年1月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年5月1日 至平成24年1月31日)
売上高	20,676,893	21,465,599
売上原価	13,421,315	13,741,864
売上総利益	7,255,578	7,723,735
販売費及び一般管理費	6,348,325	6,781,885
営業利益	907,253	941,849
営業外収益		
受取利息	1,696	685
受取配当金	6,158	8,531
受取賃貸料	135,421	131,523
受取手数料	13,340	378,732
その他	76,937	68,399
営業外収益合計	233,554	587,871
営業外費用		
支払利息	144,571	122,100
賃貸費用	74,732	74,265
その他	11,536	20,632
営業外費用合計	230,839	216,998
経常利益	909,968	1,312,722
特別利益		
固定資産売却益	—	273
特別利益合計	—	273
特別損失		
固定資産除却損	5,105	—
投資有価証券評価損	3,420	706
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	52,420	—
特別損失合計	60,945	706
税引前四半期純利益	849,022	1,312,288
法人税、住民税及び事業税	301,001	467,322
法人税等調整額	95,226	116,016
法人税等合計	396,227	583,338
四半期純利益	452,794	728,949



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 事業等のリスク

前事業年度の決算短信に記載した「事業等のリスク」からの重要な変更は以下のとおりであります。

訴訟事件等について

当社における切り込み入り切り餅の製造・販売が、越後製菓株式会社(以下、「越後製菓」という。)所有の特許権を侵害するものとして、越後製菓より、平成21年3月11日付で、東京地方裁判所へ、当該製品の製造・販売等の差止め請求、当該製品等の廃棄及び14億85百万円の損害賠償を求める訴えがなされましたが、平成22年11月30日、同裁判所は、越後製菓の請求をいずれも棄却するとの判決を下しました。

これに対し、同判決を不服として、越後製菓が、平成22年12月13日付で知的財産高等裁判所へ控訴を提起しました。当社は第一審に引き続き、当社の正当性を主張しておりますが、平成23年9月7日、同裁判所から、①当社が製造・販売する製品は越後製菓の有する特許の特許請求の範囲の請求項記載の発明の技術的範囲に属する、②越後製菓の特許は特許無効審判により無効にされるべきものとは認められないとの中間判決が言い渡されました。

その後、平成23年11月16日付で、越後製菓から訴え変更の申立がなされ、越後製菓の請求する損害賠償請求金額は、59億40百万円に変更されております。

当社は、中間判決後に継続されたる審理において、引き続き正当性を主張しております。平成24年1月31日に本件の弁論は終結されており、平成24年3月22日に判決が言い渡される予定です。

また、本訴訟の結果を現時点において予測することができませんので、当社の業績に及ぼす影響額は不明であります。